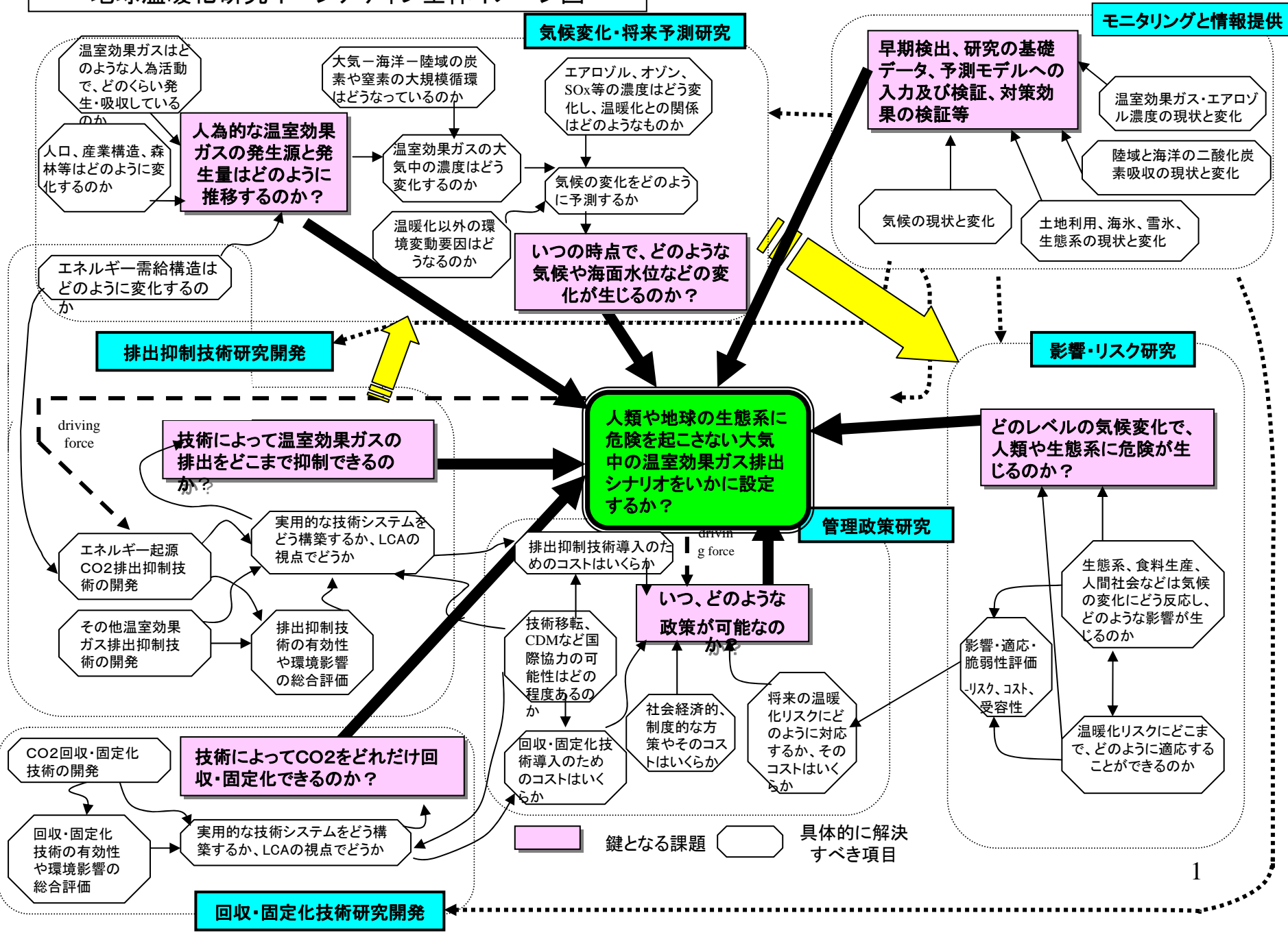


地球温暖化研究イニシアティブ全体イメージ図



温暖化抑制政策研究プログラム: 課題(2002年検討)

●研究の進捗: UNFCCCの進行にあわせて着実に進みつつあると評価 以下の課題有り

●研究課題のカバー範囲:

●気候変動枠組み条約および京都議定書・ポスト京都にむけての国際政策支援体制は、評価モデル、国際合意、法的検討、計量経済評価等の研究でかなり強まっている。

●京都およびそれ以降の国内政策支援研究は、対策評価モデル、長期シナリオ、地方自治体支援、都市形成、企業経営、低公害車などがある。しかし国民意識形成、税や排出量取引を組み合わせた国内制度設計、脱温暖化社会に向けた構造改革、合意形成や温暖化施策と経済との好循環、などへの研究がさらに必要

●研究主体:

●国際政策研究が一定の研究所に集中している。他の省庁関連研究所および大学でも研究が行われているが、in-houseにとどまり、イニシャティブに登録されていない。→公開の場での検討によって、政策科学としての研究が一層進展するのではないか？

●大学における研究を一層組織化して、政策に反映させる仕掛けがいる。科研費その他の研究成果の活用が必要

●イニシャティブ同士のつながり:

●温暖化技術イニシャティブにおけるマクロな技術政策・技術シナリオとの交流が必要